

# なんぽぽ

令和元年8月23日  
No. 5  
三本木小学校 保健室

夏休みが終わり、いよいよ2学期です！楽しい思い出がたくさんできましたことだと思います。さて、本校では、毎年夏休み明けから秋祭りにかけて体調をくずす子が多く見られます。8月の保健目標は「規則正しい生活をしよう」です。生活リズムをくずさないように、そして熱中症を予防するために「早ね早起き朝ごはん・水分」を心がけましょう。2学期も元気いっぱいに過ごしましょう。

秋祭り後の**9月10日(火)～13日(金)**に生活リズム調べを行います。まずは、おうちの人と起きる時間とねる時間を決めましょう。

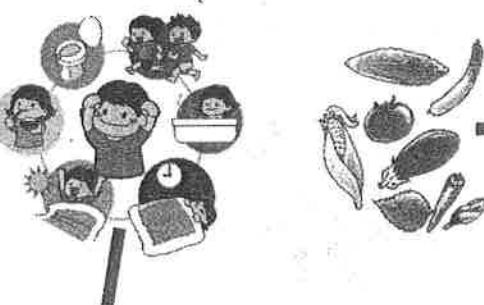
## <早ね早起きの目安>

早起き：朝6:30までに起きる 早ね：(低・中学年9時 高学年10時) 前にねる  
調べる項目は、次のとおりです。

- ① 朝( )までに起きた ② 朝ごはんを食べた ③ 夜の歯みがきをした
  - ④ 夜( )前にねた ⑤ メディアは夜9時までに終えた ⑥ しょくじしらべ(野菜)
- 夏休み生活カレンダーに引き続き、3度の食事のなかで、野菜を何回食べたか調べます。

おうちの方のコメント欄もありますので、ご協力よろしくお願いします。

## 子どもは特に「早寝・早起き」が大事です！

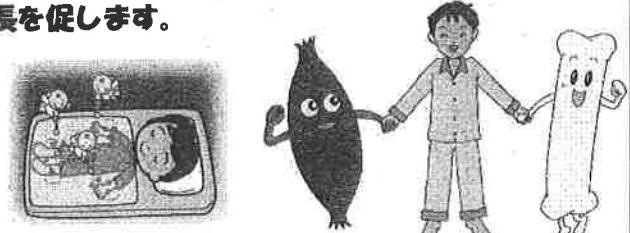


### 睡眠の3つのチカラ！

#### ①成長

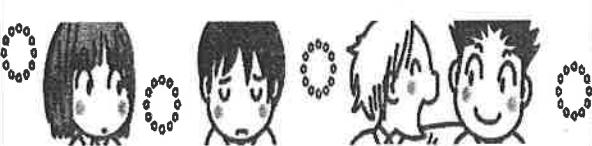
「寝る子は育つ」とよく言われますが、実はこれ、科学的に証明されているそうですよ！

私たちは日中活動すると、心も体も疲れます。人の体には、この疲れを回復させるメカニズムが備わっています。その中で、一番有効な活動が睡眠なのです。この疲労回復のために必要なのが「成長ホルモン」。成長ホルモンの分泌は、寝た直後くらいに最大ピークを迎えます。この成長ホルモンは、疲労の回復だけでなく、新陳代謝や身長の成長を促します。



#### ②心

睡眠不足の時の心は、ハイテンションになりやすく、小さなことでイライラし、衝動的になります。すぐに気分は落ち込み、不安定になります。自制力が落ちていて、ささいなことで他人にあたったり、普段しないような言動をしてしまい、対人関係で失敗したり、ということも起こりがちです。また、自己評価も下がってしまいます。睡眠時間が短い中学生は、うつや不安を抱える割合が高い、という調査結果もあるそうです。



#### ③学習

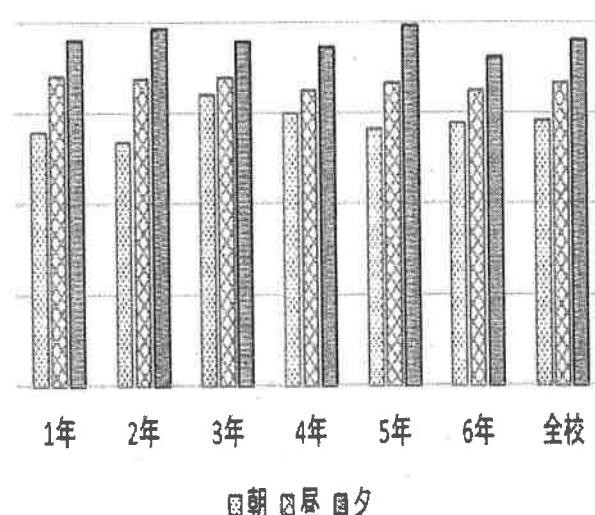
子どもの睡眠不足や日中の眠気は、記憶・判断・計算・理解・思考・言語などに悪い影響を与えます。また、睡眠不足になると感情のコントロールが難しくなり、反抗的になって勉強をやめてしまうなど、勉強に集中できなくなってしまいます。

慢性的な睡眠不足があると、脳が育つための環境が乱れ、その時期に育つための回路がうまく育たないそうです。しかも、小児期や思春期に睡眠不足によって生じる脳への影響はその後も長く続く、と言われています。



すこやかフォーラム直後の土日2日間の集計結果です。どの学年も朝はやや少な目ですね。私の場合は、朝はバタバタなので（暑いと火を使いたくないし…）洗うだけでいい、お手軽なミニトマトをパクっと食べるようになっています

2日間の野菜摂取回数



### 歯の個別指導をします

歯科検診の結果から、医療機関への受診が確認できないお子さんを対象に、9月から個別指導を行います。(4年→3年→2年→1年→5年→6年の順)

終わったらプリントを持ち帰らせますので、おうちの方のサインをお願いします。

すでに治療が終了している場合は、ピンク色の治療カードの提出をお願いします。失くしたときやカードを持たずに受診されたときは、その旨カードに保護者の方が記入されるか連絡帳でお知らせいただけます。

